

ゴッホ渾身の傑作、名古屋初公開!!

ゴッホの跳ね橋

ヴァルラフ＝リヒャルト美術館所蔵

と印象派の画家たち

Wallraf-Richartz-Museum &
Fondation Corboud, Cologne, Germany

名古屋市美術館

Nagoya City Art Museum



芸術と科学の杜

2026. 9.19 [土] — 11.29 [日]

◎主

催：名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、
中日新聞社、東海テレビ放送

◎後

援：ドイツ連邦共和国総領事館、
名古屋市立小中学校PTA協議会、
JR東海

◎協

力：ヤマト運輸、名古屋市交通局

◎企 画 協 力

：クオラス

CHUNICHI
創業140年 中日新聞社

東海テレビ
ONE-FAN

大衆・特別
ドイツ連邦共和国総領事館

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

【開館時間】9:30～17:00 金曜日は20:00まで(いずれも入場は閉館の30分前まで)
【休館日】毎週月曜日(ただし、9/21、10/12、11/23は開館)、9/24(木)、10/13(火)

本展覧会は、ドイツ連邦共和国ケルン市の
ヴァルラフ＝リヒャルト美術館・コルブー財団の協力のもとで開催されています。

フィンセント・ファン・ゴッホ《跳ね橋》(部分)1888年、油彩、カンヴァス ヴァルラフ＝リヒャルト美術館・コルブー財団蔵 Wallraf-Richartz-Museum & Fondation Corboud, Cologne Photo: ©RBA, Cologne

モダン・
アートへの
道のり

マネ、 コロ、 モネ、 ルノワール、セザンヌ、マティス……

ドイツ・ケルン市にあるヴァルラフ＝リヒャルツ美術館・コルプー財団は、約7万点のコレクションを誇る、ドイツ有数の美術館です。本展では、とりわけ優れた質と量を誇る印象派とその前後の作品70点が来日します。

19世紀後半、歴史的な主題や自然の忠実な再現を理想とするヨーロッパの伝統から、新しい表現を模索しようとする画家たちが現れます。クールベやマネ、コロ、ルソーらの画家たちは、庶民の生活に目を向け、森に入り、自らの目で見た自然を画面にとらえようとしました。その流れの中で誕生した印象派は、明るい色彩と細かなタッチを置いていく革新的な表現を生み出し、スーラやシニャックらはこの表現をさらに理論的に追求していきます。また、個人の感性に重きをおく印象派の姿勢は、ゴッホやゴーガンら個性あふれる表現者の出現をもたらし、マティスやボナールなど20世紀の色彩画家たちへと受け継がれながら、モダン・アートの本流を形成していきます。

本展では、印象派をめぐる42名の画家たちの作品を通して、近代絵画の歴史における革新と、その世代を超えたつながりを感じていただけるでしょう。



①クロード・モネ《エトタの浜辺の漁船》1883-84年 油彩、カンヴァス ②ポール・セザンヌ《梨のある静物》1885年頃 油彩、カンヴァス ③エドゥアール・マネ《アスバガスの東》1880年 油彩、カンヴァス ④ポール・シニャック《カポ・ディ・ノリ》1898年 油彩、カンヴァス ⑤ポール・ゴーガン《フルターニュの少年》1889年 油彩、カンヴァス ⑥ピエール・ボナール《ボートにて、ヴェルノン》1912年 油彩、カンヴァス ⑦ピエール＝オーギュスト・ルノワール《縫物をするジャン・ルノワール》1898年 油彩、カンヴァス
作品はすべてヴァルラフ＝リヒャルツ美術館・コルプー財団蔵 Wallraf-Richartz-Museum & Fondation Corboud, Cologne Photos: © RBA, Cologne

(1) 連続講座 本展カタログの巻頭論文執筆者が、本展の見どころなどをお話しします。

【日時】①9月27日(日) ②10月24日(土) ③11月22日(日)
いずれも14:00～(約90分)
※内容は3回とも異なります。

【講師】深谷克典(名古屋美術館学芸員)
【会場】名古屋美術館2階講堂
【定員】180名(当日先着順、定員になり次第締切)
【参加費】無料、ただし聴講には本展の観覧券(観覧済みの半券も可)が必要です。

(2) ワークショップ「色の探検隊！—絵画のいろの世界をのぞいてみよう」

ワークシートを使って展示室の作品をじっくり見た後、それをもとに自由に絵を描いてみましょう。

【日時】①10月2日(金) 18:00～19:30
②10月3日(土) 10:00～11:30/14:00～15:30
※内容はいずれの回も同じです。

【対象】①高校生以上どなたでも ②小中学生(小学生は保護者の同伴必須)
【定員】①15名 ②各回15組(いずれも事前申込、先着順)
【参加費】無料、ただし高校生以上の方は観覧券が必要です。

(3) ゆったり鑑賞デー 以下の方を対象に、安心して展覧会を楽しんでいただくため、休館日に鑑賞デーを設けます。

【日時・対象】10月26日(月) ①10:00～11:30 未就学児のお子様をお連れの方
②13:30～15:00 障害者手帳(ミライID含む)または受給者証をお持ちの方とその付添者(2名まで)
【定員】各回20組(事前申込、先着順) 【観覧料】通常と同額 ※常設展はご覧いただけません。

※(2)(3)の参加・申込方法などの詳細・最新情報は、展覧会公式サイトでご確認ください。
※手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の4週間前までにご相談ください。

観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,900円	1,700円
大学・高校生	1,000円	800円
中学生以下	無料	

※いずれも消費税込※団体割引料金は20名以上に適用※障害のある方、難病患者の方は、手帳(ミライID)可または受給者証の提示により本人と付添者2名まで、当日料金の半額でご覧いただけます※高大生チケットあるいは障がい者チケットを購入された方と中学生は、当日美術館の受付で証明となるもの(学生証、障害者手帳など)をご提示ください※名古屋交通局発行の「ドニエコきっぷ」「一日乗車券」「24時間券」を当日利用して来館された方は100円割引※「名古屋美術館常設展定期観覧券」の提示で当日料金から200円割引※いずれも他の割引との併用はできません※会期中、本展の観覧券で常設展もご覧いただけます

◎販売場所: Boo-Woo(ブーウー)チケット、ローソンチケット(Lコード:40058)、ミュージアムチケット、チケットぴあ(Pコード:687-397)、イーブラス、セブンチケット、主なコンビニエンスストア、ART PASS、アソビユー!、名古屋美術館、中日新聞販売店など
◎販売期間: [前売券]6月1日(月)～9月18日(金)まで ※名古屋美術館は9月6日(日)まで [当日券]展覧会会期中



地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、5番出口から南へ徒歩8分
地下鉄鶴舞線「大須観音」下車、2番出口から北へ徒歩7分
地下鉄名城線「矢場町」下車、4番出口から西へ徒歩10分

名古屋市美術館
Nagoya City Art Museum 芸術と科学の杜

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25 〔芸術と科学の杜・白川公園内〕
TEL:052-212-0001 FAX:052-212-0005
X:@ncam_nagoya Instagram:@ncam_nagoya
https://art-museum.city.nagoya.jp/

最新情報はこちら

展覧会公式サイト:
<https://static.chunichi.co.jp/chunichi/pages/event/vangoghandtheimpressionists/>

